

# 連結内空変位計 EDL-5005N-5

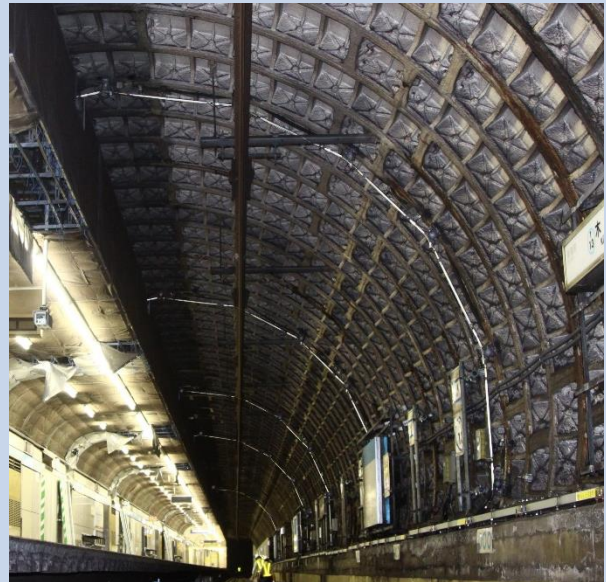
- 様々な形状や長手方向の鉛直・水平の計測が可能です。
- センサ間はワイヤーまたはロッドで接続されるため、長スパンでの計測が可能です。
- 高精度と長期安定性を実現しています。
- 設置が簡単です。
- 従来のデータ収録装置により計測するため、他の計測機器と併用することができます。

## ■ トンネル断面変形の計測に最適。省スペース、高精度センサ。

連結ロッドの伸縮量と隣接するロッドの回転角を測定することによって、二次元変位を計測するセンサです。本体は摩擦抵抗の小さい回転支点、連結ロッドの伸縮（支点間距離）を測る変位計で構成されています。



断面への取り付け状況



## ■ 先端リングから測定できます。

- ・ 設置スペースが小さく施工の邪魔になりません。
- ・ 種々の構造物の鉛直・水平方向変位の連続計測が可能です。
- ・ リアルタイムでトンネル断面の変位計測が可能です。

### 連結内空変位計の測定原理

連結内空変位計は、伸縮ロッドと回転接手からなり、それら複数を連結させ、それぞれの伸縮量と回転角度を計測することによって、様々な形状の二次元変形計測を行なうものです。

名 称	連結内空変位計
型 式	EDL-5005N-5
測 定 範 囲	傾斜±120 分/変位±10mm
非 直 線 性	0.5% F.S.以内
使用測定器	EM シリーズ、EC シリーズ、EC-400 シリーズ

※取付用品につきましては、計測目的に合わせて設計製作いたします。